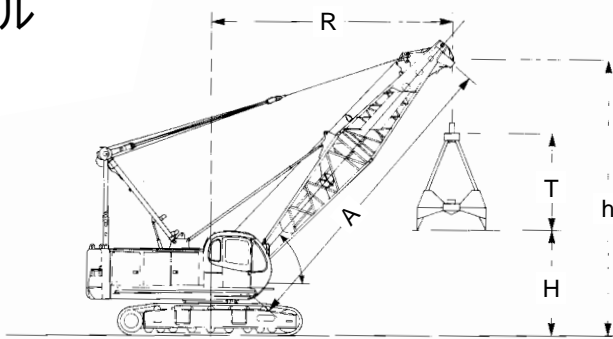


# Applications

## コラムセル/パイプロ/リフマグ

### ▶コラムセル



バケット 高さ 開口時	バケット 容量	0.8m <sup>3</sup>	T	3.3m
		1.0m <sup>3</sup>		3.3m
		1.2m <sup>3</sup>		3.7m
		1.6m <sup>3</sup>		3.6m

注  
バケット単体質量は3.1tを越えてはなりません。  
1.6m<sup>3</sup>バケットは荷役用です。

ブーム長さ	m	A	9.1				12.2				15.2				18.3				
ブーム角度	度		35	45	55	65	35	45	55	65	35	45	55	65	35	45	55	65	
作業半径	m	R	8.7	7.7	6.5	5.2	11.2	9.9	8.3	6.5	13.7	12.0	10.0	7.7	16.2	14.2	11.8	9.0	
開口地上高さ m	バケット容量	H	0.8m <sup>3</sup>	0.9	2.2	3.2	4.1	2.7	4.3	5.7	6.9	4.4	6.5	8.2	9.6	6.2	8.6	10.7	12.4
			1.0m <sup>3</sup>	0.9	2.2	3.2	4.1	2.7	4.3	5.7	6.9	4.4	6.5	8.2	9.6	6.2	8.6	10.7	12.4
			1.2m <sup>3</sup>	0.5	1.8	2.8	3.7	2.3	3.9	5.3	6.5	4.0	6.1	7.8	9.2	5.8	8.2	10.3	12.0
			1.6m <sup>3</sup>	0.6	1.9	2.9	3.8	2.4	4.0	5.4	6.6	4.1	6.2	7.9	9.3	5.9	8.3	10.4	12.1
ブームポイント高さ	m	h	6.7	8.0	9.0	9.9	8.5	10.1	11.6	12.7	10.2	12.3	14.0	15.4	12.0	14.4	16.5	18.2	
定格総荷重	t		5.5																

### ▶パイプロ

#### ■作業指針

- 杭の打ち込み時：  
クレーンの定格総荷重 = フック質量 + 杭質量 + パイプロ質量
- 杭の引き抜き時：  
クレーンの定格総荷重 = フック質量 + 杭質量 + パイプロ質量 + パイプロ起振力 × 1/4

#### ■使用フック、つりワイヤロープ

パイプロハンマの起振力kN {tf}	使用フック	つりワイヤロープmm
18 { 19 } まで	19t	22 × 2本掛以上
19 { 20 } ~ 31 { 32 }	32t	22 × 4本掛以上
32 { 33 } ~ 44 { 45 }	45t	22 × 4本掛以上
45 { 46 } ~ 53 { 55 }	55t	22 × 6本掛以上

#### ■使用上の主な注意点

- 使用ブーム長さは30.5m (100) 以下です。
- ブーム角度は60° ~ 70°程度にて使用してください。
- フックはパイプロ起振力相当のt数のものを使用してください。
- パイプロはフックに直接つり下げずに、必ずフックとパイプロの間につりワイヤロープを使用してください。  
(ワイヤロープの安全率は6以上)
- パイプロを運転しないでクレーンの巻き上げだけで杭を抜かないでください。
- 緩衝バネが密着するほど抜く力をかけないでください。
- 使用パイプロは、電動式では、普通型および公害対策型の88kW {120PS} 以下のもの、可変高周波型の59kW {80PS} 以下のものを使用してください。

### ▶リフマグ

マグネット	径 mm	1,500	1,800
	自重 kg	2,750	4,200
電圧	v	DC 220	
発電機容量	kW	20	25
ブーム長さ	m	9.1 ~ 18.3	
作業半径	m	6.0 ~ 16.0	
定格総荷重		クレーン定格総荷重の90%	
全装備質量	t	57.4 (9.1mブーム時)	58.9 (9.1mブーム時)
接地圧	kPa {kgf/cm <sup>2</sup> }	72.5 {0.74}	74.5 {0.76}